

松ぼっくり

vol.14
2013 Summer



松ぼっくり vol.14

C O N T E N T S

院長就任のごあいさつ

院長 今泉 修一

..... 1

看護部長就任のごあいさつ

看護部長 門沢 美恵子

..... 2

サザンホーム震災からの復興 2

新デイケアスタート 3

松南だより

●地域生活移行特別対策支援事業研修会 4

●医療安全委員会全体研修会 4

●新病棟での避難訓練 5

●新採用者研修会 5

○保育施設ポニーが引っ越しました 5

新入職員紹介 6

ブレイク・タイム ～病室扉の花と鳥たち～ 7

寿泉堂松南病院の四季「春」

●院内行事 お花見 8

●グループホーム行事 会津歴史探訪 8

外来診療のご案内 9

■ミニコラム 9

■編集後記 9



表紙【スイーツコレクション】.....

作者、Y.Sさんのひと言

ロールケーキ作りは難しそうだったけれど、「やってみたら」という言葉で毎日が楽しみで作る喜びを覚えました。夢の中でペロッと食べたいくらいうまく出来ました。

院長就任のごあいさつ

お知らせ

平成25年6月より、今泉修一副院長が寿泉堂松南病院の院長に就任いたしました。

なお、橘隆一前院長は名誉院長に就任し、引き続き診療いたします。

平成25年6月1日付けで松南病院院長を拝命いたしました。前任の橘隆一院長は24年にもわたり松南病院の名院長として御勤務されてきただけに、果たして私^私がその任を全うできるのか正直不安もあります。そもそも人前で挨拶をすることが大の苦手でありますから、どうしようか迷いました。しかし、言葉の達人ともいべき湯浅大郎理事長がおられますので大事な挨拶の方はできるだけ理事長にお任せしていきたいと考えております。

私は、平成9年4月より松南病院に赴任して参りましたが、はじめて松南病院を訪れたのは病院が設立して間もない昭和43、44年頃だったと思います。おそらく私の母が松南病院の薬局業務の手伝いを依頼され、両親が共稼ぎでみる者が居なかったため連れて来られたのだと思います。松林に囲まれた静かな環境にある瀟洒な建物だったような記憶があります。今では大型の蝶やトンボをみることはほとんどなくなりましたが、その当時でも図鑑でしか見たことのなかったカラスアゲハやクロアゲハ、オニヤンマが病院周辺を飛んでおりました。

はじめて松南病院に勤務したのは大学を卒業後、熊代永教授の神経精神医学講座に入局させていただいた昭和63年でした。週1回の日勤と当直のため通勤いたしました。久しぶりに訪れてみる

—これからの精神医療と松南病院—

寿泉堂松南病院
院長 今泉 修一



と病院がこんなにも国道から近かったのかと自分の記憶との違いに驚いた覚えがあります。病院の象徴とも言える中庭の松林やその間を走る通称「愛の小径」も健在でした。もともと蛇山を切り崩して建設されたことは聞いておりましたが、病棟への近道でもある小径を通る際には実際に蛇を見かけることもよくありました。

そのころは、おもに男子の閉鎖病棟である1病棟で診療を行いましたが、新規の患者さんが入院した際には開放病棟である3病棟でも患者さんを診させていただきました。3病棟ができた当時は、その先進的な設計から日本全国からの見学者が訪れたそうです。一言でいうと患者さん中心の療養環境を重視した斬新な構造でした。震災後、リフォームのため西側の浴室を取り壊すことになりましたが、そこにはなんと大理石が使われていたのだそうです。平成9年から、その病棟を担当させていただきましたが、建物ができた当初よりも患者さんの高齢化もすすみ、プライバシーを重視した構造も逆に管理する立場から見ると階段や死角が多く転倒を予防するのにより注意を払わなければならない、立派な木製ベッドも点滴や介助が必要な患者さんには高さが低すぎ、さらに移動が簡単にはできないなどの問題点があり、ベッドの高さを調整できるキャスター付きのものに交換する必要性がありました。

このように時代の変遷とともに入院患者さんは代わり、病院に求められる機能もそれに応じた柔軟さが求められます。平成24年11月に完成した新しい病棟は混合病棟となり個室数もより多くトイレは分散的に配置されるなど、これまでにない設計思想が取り入れられております。今後、ますます医療全体の改革が押し進められ、その中での精神病院の在り方が問われていくことでしょう。私見では、GP(総合診療医)と専門病院への分化がますます推進されると思います。精神科救急の充実も今まで以上に求められていくかもしれません。それらの変化にも新病棟はハードウェアとして十分対応できる潜在能力を持っていると確信しております。今後はソフトウェアのさらなる充実を図っていかねばなりません。

松南病院の名物であった愛の小径も蛇山も今はなく平坦となってしまいました。以前は小山には美しい山百合の花が毎年のように咲いておりましたが、種がどこからか飛んできて自生していたのだそうです。平坦となった中庭にはまだほとんどなにもありませんが病院職員一丸となって美しい花を咲かせていけたらと思っております。

2 看護部長就任のごあいさつ

前任の佐久間看護部長の下、6年間看護副部長を務めさせていただきましたが、4月1日付で看護部長を拝命した門沢でございます。

精神科看護においては、「傾聴」「受容」「共感」「支援」そして「笑顔」を欠かすことができません。不安や悩みに耳を傾ける、苦痛をしっかり受け止める、笑顔で患者さん一人一人に寄り添うことの積み重ねが大切だと感じています。新病棟が完成し、入院患者さんの療養環境が大きく改善されました。今後も、当院の理念である「患者さんのところ、生活、立場を尊重することを基本とし、精神医療、看護、福祉を通して地域と社会に貢献する」を実践するため、高い倫理観を持ち、こころの通った看護が提供できる看護職員の育成に努力してまいります。また、成長する看護を目指して教育システムの整備や看護職員一人一人が寿泉堂松南病院の組織の一員として充実感が得られるように取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。

看護部長 門沢 美恵子



サザンホーム 震災からの復興

サザンホームは、平成17年6月に空き民家を借り、共同住居としてスタートしました。翌平成18年10月にグループホームとなり、3名の利用者の生活支援をおこなってまいりました。地域行事の側溝清掃への参加、自転車やバスを利用したの買い物や町内のごみステーションの利用(地区の了解を得て)等、社会資源の活用もしてまいりました。花見会や芋煮会、クリスマス会などはパインフォレストと合同で楽しんだり、年間行事も計画を立て実施するなど、充実した生活を送られていましたが、平成23年3月11日の東日本大震災により、建物は全壊し利用者は避難生活を余儀なくされました。

家主さんは再建を断念されたのですが、利用者の一名が安積野養鶏の外勤者であったため、心を痛めた同社の五十嵐社長より、同年秋ごろに「なにか協力できれば」との好意的な話から再建していただけることとなりました。



建物については震災特需も重なり、行政への許可申請も時間がかかり予定通りには進まず、焦りと心配がありました。今年2月末に建物が完成し、4月には入居受入が可能となりました。定員は6名で全個室です。共用の食堂とキッチン・風呂・トイレがあり、エアコン完備と立派に新築されました。避難者2名は5月1日念願の入居となりました。今後も利用者の社会生活充実を念頭に、

地域に根ざしたサザンホームとして安心してご利用いただけるよう社会的使命を果たしてまいります。皆様のご支援をお願いいたします。

(サービス管理責任者 小林 勝一)

新デイケア スタート

2013.4



平成25年4月からデイケアはパインフォレスト2階から、デイケア棟(旧3病棟)に移動し、新たなスタートを切る事となりました。

まずは、引越しの準備。デイケアにある荷物を選別し、段ボールに詰めていく作業をメンバーさん達と行い、その段ボールの量にビックリ!!畳のスペースが段ボールの山…。

デイケア棟のクリーニングが終わり、少しずつ物を搬入していき、お世話になったデイケアをきれいに掃除しました。

数日かけての搬入、掃除、設置。週末にドカンと大物を他部署の男性職員にお手伝いをいただき、引越しは無事終了しました。

4月1日、新しいデイケアがスタート!壁をきれいに塗りなおし、色々な仕切りを作ってスペースを作り、元病棟の雰囲気をはらりと変えて、メンバーさん達が活動に合ったスペースを選ぶことができるようになりました。フロア、フリースペース、調理室、リラクゼーションスペース、喫茶スペースとバリエーションは豊富。新しいプログラムも多数準備し、学ぶプログラムと活動プログラムに分かれ、メンバーさんが、それぞれのリハビリプランに合ったプログラムへの参加で治療に取り組んでいます。

デイケアは、『再発予防』を土台にし、誰もがなにかしらの『社会復帰/社会参加』を目指します。獲得できる最大限の生活を得た後、最終的には『現状維持』を目指します。就労を目指す方、一人暮らしを目指す方、生活リズムの維持を目指す方それぞれ進み方は十人十色ですが、それぞれのニーズに応えられるよう常に新しいものを取り入れながら、クオリティの高いリハビリテーションの提供を目指しています。

(デイケア 佐久間 真也)

松南だより

地域生活移行特別対策支援事業研修会

当院リハビリテーション室2階にて地域生活移行特別対策支援事業の研修会が行われました。県中保健所の方から事業の概要を、星ヶ丘病院の方からは実際に事業を行った時の講義をして頂きました。

長期で入院されている方が様々な事情で退院できないという、社会的入院が以前から問題になっています。この問題に対して、入院中から地域で生活する為に必要なスキルを学ぶ退院支援プログラムの有効性や、患者さん本人やご家族に対し、入院中から病院と行政・地域の他機関のスタッフ等が連携をとって関わることで、安心して地域で暮らせるようになるということ

を改めて感じました。講義の最後には質問も多く出され、今後当院で退院支援を行っていく上で参考になる事が多く、とても有意義な研修でした。

(医療相談室 寺山 由莉)



医療安全委員会全体研修会

本年度2回目の医療安全全体研修会を行いました。今回は「事例の振り返り」として各職場より7部門の報告がありました。

薬局からは1年間のインシデントレポートを分析し傾向と対策をまとめた報告、リハ室からは震災前後のヒヤリハットのレポート分析、その他の部署においては印象に残ったヒヤリハット事例報告があり会場では皆真剣に聴き入っていました。

事例の振り返りは今年度で5年目になりましたが、発表を聴講することにより各職場の状況が理解でき、また情報の共有ができて有意義な時間となりました。基本的な事のダブルチェック、スタッフ間のコミュニケーションが事故防止に役立つことを改めて確認することができました。

事故を少なくするためにはヒヤリハット時点で分析・改善そして皆で共有することが大切なので今後も「事例の振り返り」を続けていこうと考えています。

(医療安全管理委員会 設楽 清)



新病棟での避難訓練

新病棟となって初めての避難訓練を行いました。今回は新病棟、厨房からの出火を想定しました。新病棟は電気錠であり、職員は事務への通報や電気錠の解除、避難の誘導と真剣に取り組み、第2病棟・3病棟の患者さんは外の避難階段からの避難となりましたが、転倒などの事故もなく行うことができました。

火災が発生した時にしなければならない事は

- ①消火する ②通報する ③避難する

この3つが大切であると言われています。一人でこの3つ全てを行うことはできないため、複数の人と協力することにより3

つのことが行うことが出来ます。万一の火災の際にもパニックにならず、落ち着いて適切に消火・通報・避難ができ、被害を最小限にとどめられるように今後も訓練を行っていききたいと思います。

(第1病棟 橋本 秀輝)



新採用者研修会

平成24年6月以降に入職された新採用者14名の方を対象に、計4日間に渡り新採用者研修会が行われました。その中で私は、「精神科患者の理解と看護」について講義させていただきました。新採用者の中には他の精神科病院勤務経験者も多く、反対に精神科看護の経験談など聞くことができ、実りある時間となりました。

「熟練看護師の技とは、患者さんから出されるSOSに沈着冷静に対応できることである。」と看護学雑誌に書いてありました。今回入職された方々にも熟練看護師となれるよう期待すると共に、自分も沈着冷静な対応が出来る様努めていきたいと思いをします。

(第3病棟科長 高田 陽子)



保育施設ポニーが引っ越しました

ポニーは東日本大震災によって建物が大きな被害を受け、約2年間「パイン・フォレスト」の食堂を借りて保育をしていました。今年の4月20日にデイケアあとに引越をしました。現在、常時預かりの乳幼児は9名です。毎日幼稚園降園時のバスの迎えもあり、土日祝祭日及び春夏冬休みなどは、幼稚園児や小学生も集まり、縦のつながりもあってとても良い雰囲気です。

保育室は走り回って遊ぶことができるほど広くなり、のびのびと体を動かすことができるようになりました。その反面危険なこともあるので、十分注意し子供たちが安心して過ごせる環境を工夫していきたいと思いをします。

(ポニー保育士 深谷 優子)



新入職員紹介



診療部長・医師
河野 創一

松南病院には10年前に月1回週末の当直に来ておりました。当時は医師になりたてで、大学病院以外で働くのは松南病院が初めてでした。慢性期の統合失調症の患者さんを前にして戸惑いもありましたが、橋先生はじめスタッフの皆さんにフォローしていただき、様々なことを学びました。また皆さんと一緒に仕事ができることをとても嬉しく思っております。皆さんのお力を借りながら、精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



精神保健福祉士
長谷川 未紗

今年度から精神保健福祉士としてグループホームに配属となりました。まだ右も左もわからない私ですが、一日も早く仕事を覚え、先輩方に追いつけるよう、自分らしさを忘れない志を持って日々精進していきたいと思っております。ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



精神保健福祉士
伊藤 俊哉

6月から地域支援室に配属になりました。ワーカーとしての経験はなくご迷惑をお掛けすることもあると思っておりますが、色々ご教授頂ければ幸いと存じます。未熟者ですがよろしくお願いいたします。



看護師
大川 光広

4月より第3病棟で勤務しています。以前、当院で約17年間勤務していました。寿泉堂松南病院を忘れることができず、再び戻って参りました。よろしくお願いいたします。



看護師
佐藤 三夏

第1病棟配属となりました新人の佐藤三夏と申します。念願の精神科での勤務なので一生懸命仕事を覚え、患者さんと関わり、患者さんや病院に貢献できるよう努力していきたいと思っております。これからよろしくお願いいたします。



看護師
川島 新

4月より第2病棟でお世話になっております。まだまだ分からないことが多く、スタッフの方々に迷惑をかけてばかりですが、これからも一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



看護師
五十嵐 学

6月より1病棟に入職いたしました五十嵐学と申します。一日も早く責任のある仕事ができるよう努力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



看護補助
根本 幸子

4月より第5病棟で勤務しています。一日も早く仕事を覚えて、精一杯がんばりますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。



看護補助
渡辺 望美

5月より第2病棟でお世話になってます。初めて経験することばかりで戸惑うことも多くありますが、一日でも早く仕事に慣れるよう頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

ブレイク・タイム

～病室扉の花と鳥たち～

大震災前、各病棟の病室名は第1・2病棟が野鳥の名前、第3・5病棟が野草の名前が付けられていました。

新病棟が建設され、病室には一般的な通し番号が付けられましたが、古き良き文化を残すため、第1・2病棟の病室それぞれには野鳥の名前とイラストが、第3病棟の病室には野草の名前と写真が付けられています。病室の廊下を歩くだけでも楽しい気分させてくれます。

(編集委員 山本剛三)





寿泉堂松南病院の

Four Seasons

四季春

院内
行事

お花見

新年度スタートの恒例行事

春の恒例行事「お花見」が4月に行われました。今年は例年よりも桜の開花が早く、また、当日の天気も雨の予報が出ており、桜の状態が心配されましたが、幸い天候は良く桜も見ごろの状態を迎えることができました。



今回は初の試みとしてグループごとで散歩を行い、桜の花や春の風景を楽しみつつ、震災から復旧した病院グラウンドを見て回りました。その後は、室内にて豪華賞品を懸けたゲーム大会を行い、患者さんが一番楽しみにしている団子会食へと移りました。毎年お世話になっている須賀川の和菓子店のあんのみたらしのできたて団子を皆さんとても美味しそうなお表情で食べられて、楽しい時を過ごすことができました。

毎年、お花見から新年度行事がスタートとなります。今年度も患者さんたちに満足いただけるような行事を提供できるよう努めていきたいと思えます。

(リハビリテーション室 渋谷 真人)

グループ
ホーム
行事

会津歴史探訪

今年は4月には珍しく、大降りの雪の中でのお花見となりました。



今回は、幹事を務める入居者メンバーを中心に入居者全員へのアンケート調査を行い、現在NHKの大河ドラマ「八重の桜」で人気を集めている会津若松市の鶴ヶ城でお花見を開催することに決まりました。悪天候の中ではありませんでしたが、桜の開花の時期も合致し、雪が少しかぶった満開の桜に皆さん見とれている様子でした。

また、鶴ヶ城に到着してからは入居者全員で鶴ヶ城を散策したのち、各自で自由に昼食をとったり再び鶴ヶ城を散策したりと、会津鶴ヶ城の壮大な歴史に触れつつ、それぞれ思い思いの時間を過ごしていました。お花見を通して入居者さん同士の親睦も深まったようで、「行けて良かった」「嬉しかった」との感想も聞かれました。

今回は幹事メンバーの発案により、サプライズ(お土産やおやつ)やパンフレットなども用意され、より笑顔の溢れる楽しいお花見となりました。

(パイン・フォレスト 長谷川 未紗)

雪をかぶった満開の桜

● 寿泉堂松南病院

	月 mon	火 tue	水 wed	木 thu	金 fri	土 sat	日 sun
午前	河野 創一	熊代 永	橘 隆一	今泉 修一	鈴木 志郎	橘 隆一	休診
午後	休 診						

当院の外来診療時間は下記の通りです。

1. 診療時間 午前9時～午後12時30分 午後は休診です。
2. 受付時間 午前7時～正午まで(新患受付は午前11時30分まで)
3. 日曜日・祝祭日は原則として休診いたします。

● デイケア

午前 午後	今泉 修一	今泉 修一	今泉 修一	河野 創一	今泉 修一		
----------	-------	-------	-------	-------	-------	--	--

● 寿泉堂総合病院 [心療内科・精神科]

	月 mon	火 tue	水 wed	木 thu	金 fri	土 sat	日 sun
午前	今泉 修一	河野 創一	今泉 修一	鈴木 志郎	橘 隆一	高野 佳寿子 (完全予約制)	休診
午後	休 診						

外来診療時間は下記の通りです。

1. 診療時間 午前9時～午前11時30分 午後は休診です。
2. 日曜日、祝祭日は休診いたします。

ミニ・コラム

日が暮れると新病棟側面に設置された病院ロゴの照明が灯されます。暗い夜空にポツと灯っている病院ロゴを見ると安堵感と共にある種の荘厳さも伝わってくるのが不思議です。



松ぼっくりは創刊号から早7年、今ではすっかり松南病院の顔となりつつあります。編集委員も何人か変わり、私も今回をもちましてようやくお役御免となりました。いつも和気あいあいの楽しい会合だったなあとメンバーの方々にお礼を述べ筆を置きます。

角田 千恵

理事長 湯浅 大郎

院長 今泉 修一

- 診療科目 精神科・心療内科
※精神科デイケア併設
※訪問看護はご相談に応じ、実施しております
- 住所 〒962-0403 福島県須賀川市滑川字池田100番地
- 電話 0248-73-4181(代) ●FAX 0248-72-8133
- ホームページ <http://www.jusendo.or.jp/shn>
- 病床数 215床(精神165床、認知症治療病棟50床)

グループホーム「パイン・フォレスト」

- 住所 〒962-0403 福島県須賀川市滑川字池田91番地
- 電話 0248-73-4182 ●FAX 0248-63-1185

グループホーム「サザンホーム」

- 住所 〒962-0403 福島県須賀川市滑川字西山78番地

小規模作業所「ショップしょうなん」

- 住所 〒962-0403 福島県須賀川市滑川字池田100番地20
- 電話 0248-72-0201

財団法人 湯浅報恩会

- ホームページアドレス <http://www.jusendo.or.jp>

寿泉堂総合病院 ●電話 024-932-6363(代)	寿泉堂香久山 居宅介護支援事業所 ●電話 024-932-6501
寿泉堂香久山病院 ●電話 024-932-6368(代)	寿泉堂香久山病院 通所リハビリテーション事業所 ●電話 024-932-6368
寿泉堂クリニック ●電話 024-939-4616(代)	いずみ訪問看護ステーション ●電話 024-921-5246
社会福祉法人 いずみ福祉会 介護老人福祉施設 スプリングガーデンあさか ●電話 024-937-3737	認知症高齢者グループホーム グループホームすぷりんぐ ●電話 024-937-3881